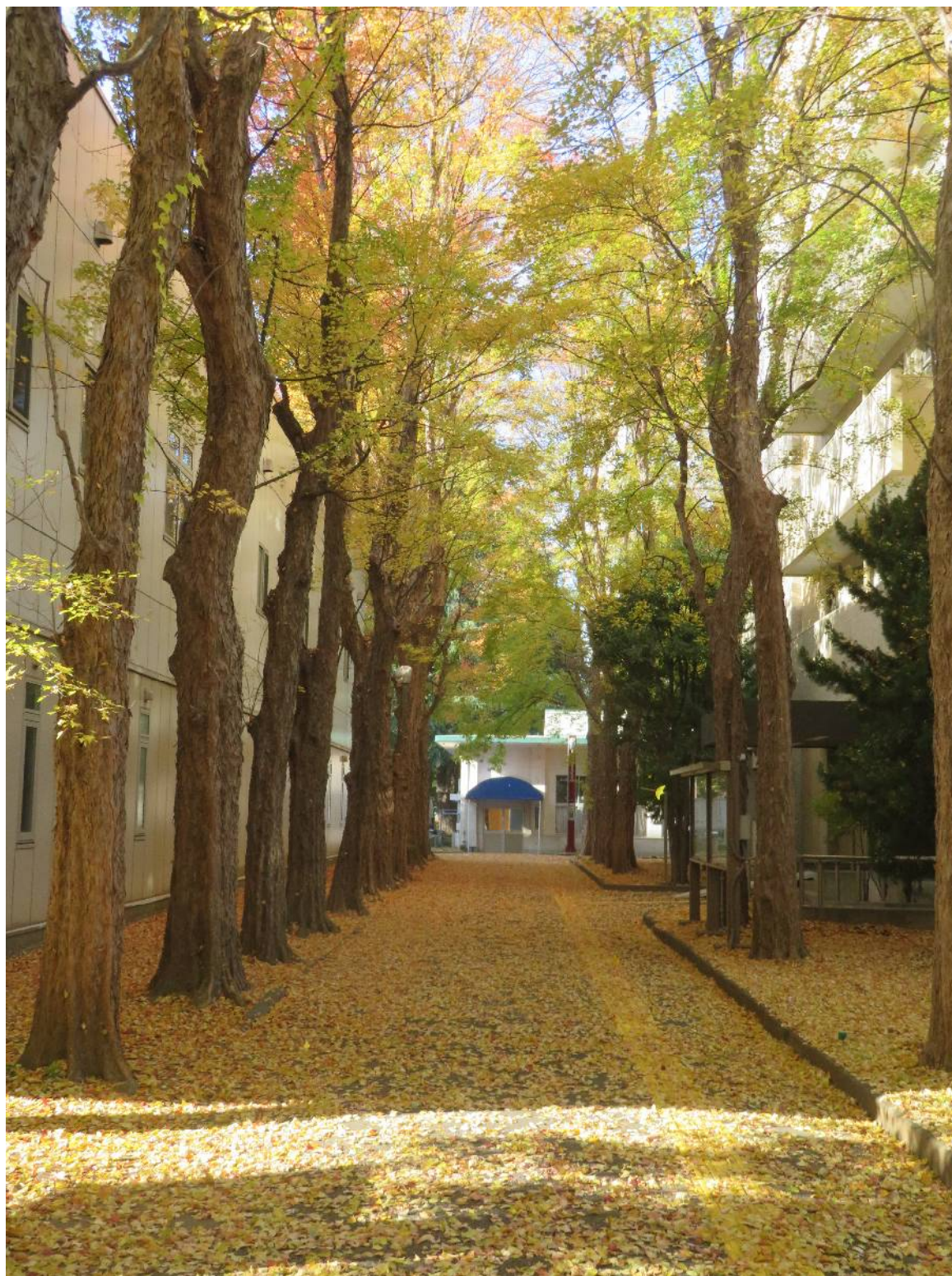


12月といえば暦の上では完全に「冬」ですが、東京では今が「秋真っ盛り」という感じです。イチョウもカエデも、今が見ごろ・・・か、まだ少し早い・・・という色づき方です。お茶の水女子大学構内の木々も、やっとなどにも色づいて、落葉も進んでいるという風景です。

お茶の水女子大学には正門（東門）のイチョウ並木とは別に、「トウカエデ並木」というのがあります。トウカエデ（唐楓）は中国原産のカエデの仲間で、その葉の形状から「三角楓」とも呼ばれています。私には葉の形が「恐竜のあし跡」のように見えます。そのトウカエデ並木がちょうど今が紅葉の見ごろになっています。朝早く



く行くと、まだ落ち葉掃きがされていないので、たくさんの葉が路面を埋め尽くしています。トウカエデの葉は赤く紅葉するのですが、落ちている葉は、赤よりも黄色のほうが多いのが面白いです。

（2024年12月上旬／お茶の水女子大学構内）